



鬼の衣装をまとい長縄跳びを楽しむ子ども

みんなで鬼の世界を楽しむ

鬼が辻

総社の冬の風物詩となった鬼が辻が2月12日、カミガツジプラザで開かれました。

大人も子どももみんな鬼になって来場。長縄跳びやニセオーニーを探せなどのゲームを楽しんだほか、鬼しるこや焼きおにぎり、鬼汁などのごちそうを売る店もあり、会場は子ども鬼の歓声に包まれていました。訪れた家族連れや友達同士らは、つかの間の鬼の世界を楽しんでいました。

鬼が辻は、節分に豆を投げつけられる鬼の痛みが分かる温かい心をもってもらいたいと、平成5年以降毎年この時期に開催。

いっしょにお菓子を作りました

お菓子づくり講座

お菓子づくり講座が1月22日、清音公民館で開かれ、地域住民に交じってブラジル人6人がクッキーの作り方を学びました。

作ったのは、ドロップクッキーとアーモンドチョコクッキー、型抜きクッキーの3品です。6人はメモや質問をしながら熱心に受講。日本語になれない友人に通訳をしながら、こねたり型抜きをしたりする作業を体験していました。日本人参加者とも声をかわし楽しい時間を過ごしていました。

公民館講座への参加は5人が初めてで、市が発行しているポルトガル語版の広報を見て参加したとのこと。「子どもに作ってあげたいと思って」と話す人もいました。



和気あいあいとお菓子づくりを楽しむ参加者

非常時給食とご当地グルメを食す

学校給食週間

1月24日から30日までの学校給食期間を機に、学校給食を知ってもらう展示や、防災や地産地消を考える給食を子どもたちが味わいました。

阪神淡路大震災の起きた日の1月17日の献立は非常時給食。災害時の食事を想定したもので、カンパン、すいとん、パック牛乳、ミカンの4品です。子どもたちは、担任からの話を聞き、災害のときのことを思いながら食べていました。

1月24日は、ご当地グルメで学校給食版の「総社ドッグ」。総社産品6品を使い、地産地消をテーマにした給食です。この日、この給食の試食会を総社市保健センターで開催。限定40食に主婦などが来場し、子どもたちと同じ給食を味わっていました。



きびみどりを使って作ったミニスティックのチーズケーキとパッケージ



市役所で開いた学校給食版総社ドッグの試食会（写真上）。非常時給食でカンパンを食べる常盤小学校の児童（写真下）

今回はチーズケーキ

きびみどりのお菓子

総社市の特産品きびみどりをを使ったチーズケーキ「吉備じいさんの芋便り」ができあがり、JR岡山駅とサンロード吉備路、吉備路もてなしの館、山陽自動車道の吉備サービスエリア（上り線）・福山サービスエリア（下り線）で販売されています。

きびみどりと豊富なチーズをいっしょに練りこんだペーストを生地ではさみこんだミニスティックのチーズケーキです。10個入り1箱が1050円（税込み）。

ミニフォト

100歳 おめでとうございます



祝福を受ける横田さん

横田末子さん（三須）が1月29日、100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。性格が明るく社交的な横田さん。長寿の秘訣は、「しほりたての牛乳を毎日飲んでたこと」と教えてくれました。

100歳 おめでとうございます



祝福を受ける石田さん

1月30日に100歳の誕生日を迎えられた石田美知恵さん（下倉）に2月2日、県と市から記念品が贈られました。お祝いに来た人に何度も「ありがとう」と感謝した石田さん。長寿の秘訣は、規則正しい生活をしてきたことだそうです。

100歳 おめでとうございます



祝福を喜ぶ富岡さん

富岡昌さん（黒尾）が2月9日、100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。今も野菜と果物の栽培をしている富岡さん。長寿の秘訣は「農業と果樹園の仕事で体を動かしてきたこと」と教えてくれました。

日ごろの成果を披露



市民会館でのバレエの発表

働く婦人の家まつりが1月22日・23日の両日、働く婦人の家と市民会館で開かれました。まつりは、働く婦人の家での作品展示と、市民会館での芸能発表で構成。訪れた人は講座生の発表を堪能していました。

鬼ノ城、版築で城壁整備



トントんと突き固める

鬼ノ城の城壁の整備が、西門の東側で行われています。幅3m高さ6mを、築城当時と同様に、土を少しずつ入れ、棒で突き固める版築と呼ばれる工法で整備。作業員数人で1日に10cm程度積みあがっています。3月末の完成予定。

優勝目指し、熱戦が展開



一手一手を慎重に

老人クラブ新春囲碁大会が1月26日、総合福祉センターで開かれ、市内の老人クラブの会員約50人が対局を楽しみました。優勝を目指し、盤面を見つめ熟考する参加者。会場には碁石の軽快な音が響き、熱戦が繰り広げられました。